



つながるカレッジねりま みどり分野

ねりまの森維持管理コース 講座だより

第7回  
〈樹木②〉

# 「森の樹木の特徴と剪定方法を学ぼう②(落葉樹・果樹編)」

日時：令和7年11月15日(土) 9:30～12:30

場所：羽沢けやき憩いの森(羽沢3-30)



ねりまの森維持管理コースとは？

地域の貴重な財産である憩いの森などを守り育てるため、管理活動に必要な知識と技術の習得を目指す講座です。座学と実習を交えて、草刈りや中低木の剪定技術などについて学びます。

憩いの森にある低木の管理や剪定の意義、安全管理のポイントの講義を受けたあと、オオムラサキ、クワ、カキ等の剪定や枝抜き、ダイミョウチクの整理を行いました。



実習前



実習後



実習前



実習後



実習前



実習後



実習前



実習後



講義の様子



実習地の確認

## 安全管理のポイント「声かけ・事故防止」

憩いの森の剪定等の作業の際は、ノコギリや剪定バサミなどの道具やゴミ袋など様々な道具を現場に持っていきます。活動に集中していると現地に道具などを忘れることがあります。作業前・後には道具の欠損や数量をメンバー全員で確認しましょう。また活動中にノコギリや剪定バサミなどケースに納めず、刃を出した状態で、移動すると大変危険ですので、必ずしまってから移動するようにしましょう。

今回の講座では、道路へ越境している樹木の剪定や伐採をし、歩行者や車の、通行の妨げや視界の悪さを解消しました。剪定は憩いの森の中だけでなく、周辺道路での作業を行う場合があります。作業中は、夢中になると周りが見えなくなりがちです。見張り役をたてるなど、周囲に注意を払って、お互いに声をかけあいましょう。

みどりのまちづくりセンター

## 今回のキーワード(剪定)

「常緑樹」と「落葉樹」は生育サイクルや剪定時期が違います。憩いの森には様々な種類の樹木が生育していますので、どこにどのような樹木あるかをメンバーで共有しておくとういでしょう。

剪定方法については、「常緑樹」や「落葉樹」、「果樹類」などでも大きな違いはありませんが、団体が活動している憩いの森の大きな樹木の剪定については、無理をせず、区に相談し、造園業者に依頼してもらいましょう。区では樹木の強剪定を数年に一度程度と計画されています。

また樹木は落ち葉や日陰を作ってしまうことで、近隣住民などから良い印象を持たれないことも多くあります。一方、樹木には紅葉などが楽しめるものや実を楽しめるものもあります。イベントなどで地域とみどりを楽しむ機会があると良いかもしれません。

(一社)練馬環境造園協会